

永寿園とよなか

上杉 英治 様作

平成26年創刊号
 発行人：所長 太田 卓哉
 発行：永寿園とよなか
 〒560-0083
 大阪府豊中市新千里南町
 3-2-122
 TEL：06-6840-2211
 FAX：06-6840-2214
 E-mail：eijyuentoyonakal22@seagreen.ocn.ne.jp
 URL：http://www9.ocn.ne.jp/~eijyuen3/

1. 施設目標

相談、介護、看護の3者による事業所内連携の重要性、専門性を高め、支援サービスの向上を目指す。

2. 事業方針

(1) 介護・生活支援サービスの向上

①安心で快適なお目つきがいのもって過ごせる環境作り
 ②安心で快適なお目つきがいのもって過ごせる環境作り
 ③安心で快適なお目つきがいのもって過ごせる環境作り

④安心で快適なお目つきがいのもって過ごせる環境作り
 ⑤安心で快適なお目つきがいのもって過ごせる環境作り

⑥安心で快適なお目つきがいのもって過ごせる環境作り
 ⑦安心で快適なお目つきがいのもって過ごせる環境作り

施行規則、基本協定書、年度協定書及び当該施設が作成する事業計画に基づき、設置の目的を十分に理解したうえで施設経営を進めてまいります。

その経営基盤を安定するためには、措置費運営部分と外部サービス利用型特定施設入居者生活介護の介護報酬部分、要介護高齢者短期入所事業の事業収入部分の利用率安定は不可欠であり、三事業の利益を最大限に有効活用して経営基盤の安定を図ります。

(3) 人材の育成と確保
 ①良質な人材の確保並びに離職防止に向けた取り組み
 ②良質な人材の確保並びに離職防止に向けた取り組み

③良質な人材の確保並びに離職防止に向けた取り組み
 ④良質な人材の確保並びに離職防止に向けた取り組み

⑤良質な人材の確保並びに離職防止に向けた取り組み
 ⑥良質な人材の確保並びに離職防止に向けた取り組み

や能力を鑑みて、必要であれば配置転換も検討し福祉施設職員からの離職予防に努めます。

(4) 地域社会における施設の役割と連携

入居者は地域住民の一員であるという視点に立ち、地域活動や行事の情報施設内に広報して積極的な参加を支援いたします。

地域交流室の活用による地域住民との交流を促進し、世代間交流の視点に立った行事の実施、ボランティアの受け入れなどを推進します。

地域交流室を地域のサークル活動に開放するほか、どなたでも気軽に利用できる喫茶を旨し、ボランティアの受け入れをしていきます。

養護老人ホームが地域の社会資源の一つとして活用していただけるよう、施設の開放だけでなく、豊寿荘居宅介護支援事業所の協力により介護相談窓口の設置や認知症サポーター養成講座をはじめとする地域住民向けの公開講座を開講し、専門的技術や知識等を地域住民に還元します。

(5) 人権・接遇についてのとりくみ
 以下の3点を今年度永寿園とよなか職員の接遇基本姿勢とし、徹底して接遇委員会による周知を図ります。

者短期入所事業を運営受託していることから入居者利用者の個人情報取り扱いや秘密保持を徹底するとともに、人権を侵す虐待のメカニズムを理解し、虐待防止委員会が中心となって人権擁護の意識高揚を目指すよう取り組みます。

3. 平成26年度ステップアップ事業

(1) 施設と地域を結ぶ認知症サポーターの養成

①職員全員が認知症サポーター養成講座を受講できるようキャラバンメイトや地域包括支援センター職員と共同で開催するほか、地域の自治会組織に働きかけ認知症サポーター養成講座出張での開催に向けた2か年計画を初動するにあたり、初年度の取り組みとして施設内開催を実施します。

②達成目標
 職員70%が認知症サポーター養成講座を受講するよう取り組みます。

さらには秋口より養成講座出張開催できるよう自治会組織に働きかけ、ボランティアの組織化を意識しながら取り組んでまいります。

所長挨拶

所長 太田 卓哉

このたび、永寿園とよなか所長に就任しました、太田卓哉です。よろしくお願いいたします。

一年前の平成25年2月22日は、早朝より粉雪が舞い散る厳しい寒さとなり、来賓をお迎えする職員一人ひとりの表情が、時間の経過とともに厳しさを増していきました。

午前8時、開所式に関わるすべての職員が会場となる地域交流室に集まり、一日のスケジュールの確認を行っていきました。厳しい表情が、より引き締まっていった瞬間でした。

緊張の開所式からあっという間に一年が経過しました。これも偏に地域の皆様、入居者・ご家族の皆様のご理解とご協力のおかげと感謝しております。

平成26年4月から、組織が改変され、養護老人ホーム、特別養護老人ホーム、デイサービスセンターを一人の施設長が管理することとなりました。

「永寿園とよなか」「豊寿荘」「新規施設」が一丸となって、豊中市の皆様のために、また、これからも、より多くの皆様が気持ちよく利用できる施設を目指して、職員一同がんばっていきたくと思っています。永寿園とよなか新しい施設であるということも最大限に活用すべく、皆様からのご提案をお待ちしています。皆様と共に永寿園とよなかを作り上げていきたいと考えておりますので、これからもよろしくお願い申し上げます。



豊中市立養護老人ホーム

1周年を迎えて

養護老人ホーム永寿園とよなかは、昨年の4月1日に開所し、入居者様も職員も初対面で少しずつ関係を築いていきました。人生の先輩の入居者様から時には、アドバイスを頂き、無事1年が過ぎました。今年度は、この一年を振り返り、行事や外出支援を定着させ、又、何時までも健康で安心して生活を送って頂ける様、支援させて頂きたいと考えております。

養護のクラブ活動は、民謡端唄、茶道クラブ、園芸クラブ、手作りクラブを実施してきました。最近では、麻雀クラブ、歩こう会のクラブを発足し楽しんで頂いています。



屋上庭園で
栽培し収穫した
スイカ

美味し〜い



文化祭



節分

地域の子供達と一緒に
鬼をやっつけました!



お餅つき大会

入居者様・地域の方・職員みんなで協力して作りました。



飛行場バスツアー

飛行機を見ながらランチを楽しみました♪



琴ボランティア

入居者様の方も一緒に演奏しました♪

一年を通して四季折々の行事を行っています。また、外出ツアーやクラブ活動、行事など入居者様と共に考えて工夫し入居者様の生きる喜びを感じて頂ける様支援していきます。



開設して一年、まだまだ学ぶべき事の多いデイサービスですが、皆様にご利用いただき、笑顔と元気を提供できるように努めて参ります。

園とよなかでは、「心地よい空間を提供する事」をモットーに、利用される方の「その人らしさ」を尊重し、適切な個別支援に努め、「来てよかった！また来たいな！」と思って頂けるような介護サービスを提供できるようにスタッフ全員で目指しております。

デイサービスセンター



特別養護老人ホーム



ゆたか1丁目

ゆたか1丁目では、この一年で大切にしてきたことがあります。それは「しつらえ」です。ホーム中は年中暖かく、どちらかという暑さや寒さから季節感を感じる事が難しくなることもしばしば。それを少しでも解消するために春夏秋冬に合わせて、壁に飾る花々や色味を変えて視覚から少しでも季節を感じて頂ければと工夫しました。入居者様の中には壁に飾った花を観て「もう春なのね…」と話される方もおり、改めて「しつらえ」の大切さを感じました。今後も我が家のように、心地よく過ごして頂ける空間づくりを職員一同がんばっていきます。



ゆたか2丁目

永寿園とよながが開所して1年が経ちました。初めは、職員皆が緊張しながら支援をし、バタバタとしていたこともあったと思います。ですが、入居者様お一人おひとりと接していく内に徐々に緊張も減り、落ち着いてサポートができるようになりました。今では入居者の皆様と毎日が楽しく過ごすことが出来ている



と思います。これからも毎日楽しく明るく生活ができるユニットを目指したいと思います。

いづみ1丁目

この1年「笑顔あふれるユニット」を目指し頑張ってきました。出来る限り、入居者様ひとりひとりと向き合い、寄り添うことで、安心した生活を少しでも提供できたのではないかと考えています。職員と入居者様だけでなく入居者様同士も、互いに気かけたり、誕生日会では自ら歌を歌って下さったりと、温かく穏やかなユニットになったのではないかと思います。今後もユニットでのイベントを増やしていきたいと思っています。



いづみ2丁目 (ショートステイ)

開所当初は、ご利用者様に新築気分を味わって頂き、5月からは毎日音楽体操を実施し、懐かしの同様に合わせて体を動かしています。他ユニットのご利用者様も参加されて現在では時間になると皆さんが集まって頂けるような習慣が出来てきました。私どものショートステイの他にない特徴は…御利用に際して、ご利用者そして、ご家族にできるだけご負担をかけないようにすること。持ち物に名前の記載は不要・希望時にはお好きな飲み物、お菓子を提供できること…種類豊富に取り揃えております。繰り返し利用して下さる方も多く嬉しい一年となりました。今後も満足して頂けるサービス提供を目指していきます。



たご焼きパーティー♪



第三者委員

皆さん、初めまして。私たちは「永寿園とよなか」のある東泉丘校区で、地域福祉の増進と豊かな地域社会づくりに寄与するため、民生児童委員や校区福祉委員として日頃活動しております。

昨年春、当施設の開設時からサービスの質の確保と向上を図るための「運営推進会議」や入居者等からの苦情に迅速かつ適切に対応し、第三者からの視点で必要と思われる改善方法や内容を助言、指導する「苦情解決委員会」そして、公正な「入所選考員会」の第三者委員をさせて頂いております。ご利用者(ご入居者)やご家族の自ら望まれる暮らしと安全安心な生活を送れるよう快適で楽しい施設になるよう願っております。

松本正明・神保由紀子・山井真理子



厨房

お食事を通して ご高齢者の皆さまに生きる喜びを!

ナリコマではきざみ食に代わる形態としてソフト食を提供しています。ソフト食は食材の素材感・触感を残した、軟らかいお食事です。まとまりがあるのでこぼれにくく、上あごと舌、歯茎でつぶすことができ、食塊形成や嚥下もしやすくなっております。

これからも、ご利用者様に安全で美味しいお食事を提供し、喜んで頂けるようスタッフ一同努力して参りますので、宜しくお願致します。



医務室より



医務室では、特養4名養護2名の看護師で入居者皆様の健康管理や生活の中での相談等に対応させて頂いております。永寿園とよなか診療所は、週2回の診療を行っています。また精神科は第2、4水曜日、第三木曜日は養護の医師による健康相談があります。これからも永寿園とよなかで入居者皆様が安心した生活を送って頂けるように願っています。今後ともよろしくお願い致します。



クラブ活動【民謡クラブ、ハンドマッサージ、音楽療法】

ホームでは、視覚・聴覚・嗅覚など体感を通じて日頃の生活の中に心地よい刺激と気分転換をして頂くことと定期的なイベントを催しています。民謡クラブでは、先生の奏でる軽快な三味線の音に合わせリズムに乗りながら歌を歌い、また音楽療法では手足の運動をしながら頭の体操も行います。またハンドマッサージではその日によって異なるアロマの調合により身も心もほぐされます。これからも皆さんのオアシスとなるような活動を行っていきたくと思っています。



認知症サポーター養成講座

永寿園とよなかでは、4月より毎月認知症サポーター養成講座を開催しております。認知症サポーター養成講座とは、『認知症になっても安心して暮らせる町づくり』を合言葉に全国規模で広がっている活動です。当日はテキストやビデオ、小劇を交えながら、認知症について学べる講座です。講座終了後には認知症サポーターの証であるオレンジリングをお渡しします。多数のご参加をお待ちしております。



日程：第4回 6月28日 土曜日
 第5回 7月23日 水曜日
 第6回 8月29日 金曜日
 第7回 9月30日 火曜日

時間：午後2時～3時30分

場所：永寿園とよなか 地域交流室

費用：無料

定員：各日30名



●お申し込み・問い合わせ先
 永寿園とよなか 西川まで

電話：06-6840-2211

見学と入所相談について

当園では、見学と入所相談を随時行っています。

ご希望の方は、日程の調整をさせていただきますので、先ずは当園までご連絡をください。よろしくお願いいたします。



様々な
年間行事を
予定して
います



お待たせしました。広報第一号を皆様のお手元にお届けすることとなりました。昨年の3月に開所してから、施設運営を軌道に乗せることに専念させていただき、なかなか広報紙の作成にまで手が届かなかったのが現状です。おかげさまで、徐々にではありますが地域の皆様にも、この「永寿園とよなか」が認知されつつあるのかな、と感じております。

誰もが気軽に立ち寄り、いただける、地域に根付いた施設を目指し、入居者様・ご家族様・そして地域の皆様に満足して頂けるサービスの提供に、職員一丸となって取り組んでまいります。

今後も、広報紙を定期的に発行し施設の取り組みをお知らせしていきますので、お楽しみに。これからも「永寿園とよなか」をよろしくお願いいたします。

編集後記

